

# 2011年度 第2回 理事・企画委員会

日時：平成23年9月3日 10:45～13:00

会場：名古屋文理大学 稲沢キャンパス（稲沢市稲沢町前田365）

出席者：赤松、宮尾、木暮、大森、岡田、川野、篠原、渋谷、大門、長谷川、古川、伊藤、松沼、福島、長谷川（旭）

委任状：安藤、田中、萩原、大川、大杉（当日欠席：丁井、山田）

## 議題1. シンポジウムの件

### ・モバイル'12 報告

- －協賛学協会：承諾36件／全65件 2011/8/26現在
- －開催地：大阪市立大学 杉本キャンパス
- －開催日：2012年3月15日（木）～16日（金）
- －テーマ：時代を開くソーシャルメディアとデジタルネイティブたち
- －特別講演：岡田朋之氏（関西大学教授）、遠藤諭氏（アスキー・メディアワークス）
- －その他の企画について報告
- －今後のスケジュールについて報告

### ・モバイル'12 検討事項

- －学生参加費について
  - ・修士および学部学生の聴講のみ参加費：1,000円（会員，非会員に関わらず）
  - ・上記以外は従来通りとする。
- －ポスター発表について
  - ・学生（学部卒論を想定）発表用ポスターセッションを設ける。
  - ・ポスターセッション発表費：3,000円（仮）。
  - ・ポスター発表用には別の予稿集（アブスト集）を直前に作る（2月末）
  - ・実演希望があればそのための実演コーナーを設ける。件数によっては実演コーナーを交流会（懇親会）会場にする場合もあり得る。
- －企画セッションの内容
  - ・震災関連セッションを設ける可能性検討。古川理事がまとめ役とし、内容はこれから検討する。

### ・モバイル'13

- －開催地：東京
- －大会長：（案）安田浩東京電機大学教授
- －実行委員長：木暮理事
- －仮テーマ：モバイルインタラクシオン

### ・モバイル'13 についての検討事項

- －企画セッションを多数設け、学会が目指す方向性を示す研究演題を集めると同時に、モバイル学会会員への勧誘活動を実施。企画セッション案として、配付資料案に加えて、「サービス」、「モバイルと社

会」も提案された。

－関連学協会（例：情報通信学会、電子情報通信学会）との連携強化。

－業界団体との連携強化（MCPCは全面協力を快諾済み。他、BBA、CIAJ、MCF、NMSAなど）

## 議題 2. モバイル学会誌の件

### ・モバイル学会誌 1-2

－投稿数：11（全て同時投稿、ただし修正後投稿有り）、採録数：6

－発行予定：2011年9月末

### ・モバイル学会誌 2-1

－投稿数：4

－発行予定：2012年1月末

### ・採録決定通知文案の検討

－採録決定から学会誌発行までの期間が長くなる場合があるため、用語訂正：「掲載予定」を「掲載」とする。

## 議題 3. モバイルセミナーの件

・収入増の手段の一つではある。

・やるのであればセミナー担当理事が必要。

・会員増の手段としても考えられる。他団体（BBA等）との共催も考えられる。あるいは、講師をモバイル学会から提供することも考えられる。

・会員増、収入増のためには、まずはモバイル 12 およびモバイル 13 に注力すべきではないか。

・シンポジウムの中で講習会あるいはセミナーを実施することも考えられる。ただし、実施するとすればモバイル 13 から。

## 議題 4. 企画委員の補充の件

### －学会サーバの件

・現状：年間：7万円。別途ドメイン管理費：870円/年。ネットバンクかクレジットカード払いのみ

・（変更案）Speeever：1,575円/月。請求書払いも可能。MOVABLETYPE等各種CMSを完備。

・変更案を承認。木暮理事担当。年内移行を目標

### －学会財務状況について

・H22年度：約20万円の実質赤字

・学会誌掲載料による収入：約5万円（＝掲載量×印刷料）

・シンポジウム参加費が主な収入

・収入増のためには会員増および学会誌投稿（掲載）増が必要。

・当面の支出減としては、Webサーバ変更がある。

・2年以上会費滞納者は定款とおり（「除名」ではなく）「会員の資格の喪失」とする。

## その他

次回理事会を年末に仙台等で開催する可能性有り。

議事録署名人の選任（2名）：渋谷理事・大森理事

(以上)

平成 23 年 9 月 3 日

特定非営利活動法人モバイル学会  
2011 年度 第 3 回理事・企画委員において

議事録署名人：渋谷 雄 印

議事録署名人：大森 正子 印